

# 平成22年度 定期作況報告

(5月20日現在)

北海道立総合研究機構  
農業研究本部畜産試験場

## ．気象概況

前年11月から本年4月までの気象の経過はおおむね次のとおりであった。

11月：気温はやや低く、降水量はかなり多かった。

12月：気温はやや低く、降水量はかなり多かった。根雪始めは平年より5日遅い12月5日であった。

1月：気温はやや高く、降水量はかなり少なかった。

2月：気温はやや低く、降水量はやや少なかった。

3月：気温はやや低く、降水量はかなり多かった。最大積雪深は3月5日の65cmで、平年より29cm浅かった。

4月：気温はかなり低く、降水量はかなり多かった。日照時間はやや少なかった。根雪終りは平年より6日遅い4月16日で、積雪期間は132日となり平年より1日長かった。

5月上旬

気温は平年比-0.2 で平年並み、降水量は平年比148%でやや多かった。日照時間は平年比129%でやや多かった。

5月中旬

気温は平年比-2.9 でかなり低かった。降水量は平年比51%でやや少なかった。日照時間は平年比56%でかなり少なかった。

要約：

冬期間の気象を要約すると、気温は1月を除いてやや低く推移し、降水量（降雪）は周期的に変化し11月、12月および3月で多かった。根雪終りは平年より6日遅い4月16日だったが根雪始めも平年より5日遅い12月5日であったため、積雪期間は平年より1日長く132日となった。

なお、この冬期間は土壤凍結が観測されなかった。

融雪後は4月下旬に低温が続き5月上旬には平年並みとなったものの5月中旬には再び低温となった。日照時間も5月上旬にやや多かったものの、5月中旬はかなり少なく推移した。

気象表（平成21年11月～平成22年5月）

月	旬	平均気温( )			最高気温( )			最低気温( )		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
11	上	5.3	5.3	0.0	10.2	9.5	0.7	0.6	0.9	0.3
	中	-0.1	2.6	2.7	2.6	6.5	3.9	-2.6	-1.1	1.5
	下	-0.1	0.7	0.8	3.2	4.2	1.0	-3.7	-2.8	0.9
	平均	1.7	2.5	0.8	5.3	6.1	0.8	-1.9	-0.9	1.0
12	上	-2.2	-2.8	0.6	1.0	0.7	0.3	-6.5	-6.3	0.2
	中	-6.7	-4.4	2.3	-2.6	-0.9	1.7	-10.7	-8.0	2.7
	下	-5.2	-5.0	0.2	-2.6	-1.4	1.2	-8.4	-8.7	0.3
	平均	-4.7	-3.7	1.0	-1.4	-0.5	0.9	-8.5	-6.9	1.6
1	上	-4.1	-5.5	1.4	-0.8	-2.0	1.2	-9.2	-9.6	0.4
	中	-6.4	-6.9	0.5	-2.6	-3.0	0.4	-10.7	-11.0	0.3
	下	-5.1	-6.8	1.7	-1.5	-2.8	1.3	-9.1	-11.5	2.4
	平均	-5.2	-5.8	0.6	-1.6	-2.3	0.7	-9.6	-9.7	0.1
2	上	-8.7	-6.3	2.4	-4.8	-2.4	2.4	-13.0	-10.8	2.2
	中	-8.4	-6.3	2.1	-4.3	-2.4	1.9	-12.8	-10.7	2.1
	下	-2.1	-5.4	3.3	1.7	-0.8	2.5	-6.0	-10.6	4.6
	平均	-6.7	-5.5	1.2	-2.8	-1.8	1.0	-10.9	-9.6	1.3
3	上	-4.9	-4.2	0.7	-0.9	0.1	1.0	-10.3	-9.1	1.2
	中	-2.7	-1.7	1.0	1.9	2.3	0.4	-6.2	-5.9	0.3
	下	-2.0	0.0	2.0	1.9	4.0	2.1	-6.1	-3.9	2.2
	平均	-3.2	-1.7	1.5	1.0	2.0	1.0	-7.5	-5.6	1.9
4	上	2.3	2.1	0.2	6.7	6.5	0.2	-2.6	-2.4	0.2
	中	1.7	4.5	2.8	5.5	9.6	4.1	-1.5	-0.3	1.2
	下	2.2	6.1	3.9	6.5	11.1	4.6	-1.8	1.0	2.8
	平均	2.1	3.8	1.7	6.2	8.2	2.0	-2.0	-0.5	1.5
5	上	9.6	8.6	1.0	14.4	14.6	0.2	4.1	2.6	1.5
	中	7.7	10.6	2.9	12.1	15.9	3.8	3.2	5.1	1.9
	下		11.0			16.2			5.7	
	平均	5.6	9.5	3.9	8.5	14.6	6.1	2.4	4.2	1.8

気象表 (続き)

月	旬	降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
11	上	48.5	25.7	22.8	4.0	3.6	0.4	39.8	41.0	1.2
	中	60.0	23.1	36.9	5.0	3.2	1.8	26.9	36.2	9.3
	下	8.5	26.4	17.9	3.0	3.4	0.4	32.5	38.4	5.9
	合計	117.0	69.2	47.8	12.0	9.3	2.7	99.2	102.4	3.2
12	上	28.0	10.2	17.8	2.0	2.6	0.6	31.0	36.9	5.9
	中	17.5	15.7	1.8	1.0	2.8	1.8	43.4	36.1	7.3
	下	36.0	12.7	23.3	6.0	2.7	3.3	31.1	47.2	16.1
	合計	81.5	33.1	48.4	9.0	7.2	1.8	105.5	102.0	3.5
1	上	7.0	22.8	15.8	3.0	2.0	1.0	27.0	42.3	15.3
	中	1.5	10.4	8.9	2.0	2.7	0.7	48.5	40.9	7.6
	下	3.5	17.4	13.9	3.0	2.8	0.2	38.0	50.3	12.3
	合計	12.0	46.9	34.9	8.0	7.3	0.7	113.5	117.7	4.2
2	上	6.5	6.3	0.2	3.0	2.4	0.6	38.3	52.8	14.5
	中	7.0	13.8	6.8	2.0	2.2	0.2	47.2	46.0	1.2
	下	8.0	12.4	4.4	3.0	2.9	0.1	47.5	45.5	2.0
	合計	21.5	28.1	6.6	8.0	6.2	1.8	133.0	131.7	1.3
3	上	20.5	21.8	1.3	3.0	3.3	0.3	46.9	55.3	8.4
	中	21.0	20.8	0.2	4.0	2.9	1.1	38.6	54.4	15.8
	下	44.0	22.6	21.4	3.0	3.4	0.4	56.5	64.1	7.6
	合計	85.5	55.9	29.6	10.0	8.5	1.5	142.0	155.6	13.6
4	上	40.0	19.0	21.0	6.0	4.0	2.0	51.6	65.1	13.5
	中	22.0	27.5	5.5	5.0	3.6	1.4	44.4	55.0	10.6
	下	43.5	30.4	13.1	5.0	3.9	1.1	42.1	61.1	19.0
	合計	105.5	70.2	35.3	16.0	9.9	6.1	138.1	158.6	20.5
5	上	34.5	23.3	11.2	4.0	3.2	0.8	79.8	61.9	17.9
	中	17.5	34.1	16.6	3.0	4.4	1.4	31.3	56.1	24.8
	下		34.1			4.5			46.2	
	合計	52.0	88.9	36.9	7.0	10.7	3.7	111.1	157.9	46.8

注) 観測値は、畜産試験場内マメダスによる。  
 平年値は、過去10年間の平均値である。

季節調査

項目 年次	降雪始	根雪始	最大深積雪		最大土壌凍結深	
	(月/日)	(月/日)	(cm)	(月/日)	(cm)	(月/日)
本年	H21/10/27	12/ 5	65	H22/ 3/ 5	-	-
平年	10/29	11/30	94	2/20	10.3	1/15
差	2	5	29	13	-	-

季節調査続き

項目 年次	根雪終	積雪期間	降雪終	晩霜	初霜	無霜期間
	(月/日)	(日)	(月/日)	(月/日)	(月/日)	(日)
本年	H22/ 4/16	132	4/28	-	-	-
平年	4/10	131	4/22	-	10/8	142
差	6	1	6	-	-	-

注) 平年値は、過去10年間の平均値である。印は減または早を示す。

## .作況

### 1. 牧草

1)チモシー（採草） 作況：平年並

事由：根雪終（融雪期）は平年より6日遅く、その後低温に推移したことから、萌芽期は平年より4～11日遅かった。冬損は平年とほぼ同程度であった。5月20日の草丈は、2年目草地で平年より4cm低かったが3年目草地は2cm高かった。これらのことから、目下の作況は平年並である。

項 目	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
萌芽期(月.日)	4.28	4.24	4	4.28	4.17	11
冬損程度	1.0	1.0	0.0	1.0	1.2	0.2
草丈(cm)	31	35	4	34	32	2

注1)平年値は、2,3目草地ともに、前7カ年のうち、最良年(H18)と最不良年(H21)を除く5カ年平均値。

2)冬損程度は無、微:1～甚:9

3) は減または早を示す。

2)オーチャードグラス（採草） 作況：平年並

事由：根雪終（融雪期）は平年より6日遅く、その後低温に推移したことから、萌芽期は平年より7～9日遅かった。冬損は平年よりやや少なかった。5月20日の草丈は、2年目草地が平年より8cm、3年目草地が4cm高かった。これらのことから、目下の作況は平年並である。

項 目	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
萌芽期(月.日)	4.28	4.19	9	4.28	4.21	7
冬損程度	1.0	1.2	0.2	1.0	1.9	0.9
草丈(cm)	40	32	8	34	30	4

注1)平年値は、2目草地が前7カ年のうち、最良年(H15)と最不良年(H21)を除く5カ年平均値。3年目草地が前7カ年のうち、最良年(H15)と最不良年(H20)を除く5カ年平均値。

2)冬損程度は無、微:1～甚:9

3) は減または早を示す。

2. サイレージ用とうもろこし 作況：-

事由：5月19日に播種を完了した。

< 付 > 作況調査供試作物および耕種概要

( 1 ) 牧草

- 1 ) 供試草種・品種および播種量 : チモシー「ノサップ」1.5kg/10a  
オーチャードグラス「ハルジマン」2.5kg/10a

2 ) 耕種概要

ア . 調査草地の栽培経過

2 年目草地 ( 前年8月4日播種 ) 及び 3 年目草地

イ . 土壤改良資材施用量・施肥量 ( いずれも kg/10a )

土壤改良資材 初年目 : 炭カル200、ようりん40

施肥量 ( N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O )

初年目 チモシー及びオーチャードグラス 更新時基肥 : 4-20-8

2 ~ 3 年目 ( チモシー ) : 16-8-22

全要素とも施用量は早春 : 1 番刈後 : 2 番刈後 = 5 : 3 : 2

2 ~ 3 年目 ( オーチャードグラス ) : 18-8-22

全要素とも施用量は早春 : 1 番刈後 : 2 番刈後 : 3 番刈後 = 3 : 3 : 2 : 2

ウ . 刈取回数 ( 2 ~ 3 年目 ) チモシー : 3 回 オーチャードグラス : 4 回

( 2 ) サイレージ用とうもろこし

1 ) 品種 : チベリウス

2 ) 耕種概要

ア . 栽植密度 7,716本/10a ( 畦幅72cm、株間18cm ) 2 粒播、1 本立

イ . 土壤改良資材施用量および施肥量 ( いずれも kg/10a )

土壤改良資材 堆厩肥3,000、炭カル100

施肥量 ( N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O ) 基肥 : 8-20-4 追肥 : 6-0-0